

麦管理情報！！

今後の「麦類の中期管理について」です。

令和6年産麦類の播種は11月中旬から本格的に始まり、天候にも恵まれ順調に進みました。今年の冬は暖冬が予想されています。麦の生育が前半に旺盛になると後半に凋落し、減収や倒伏の可能性が高まりますので、麦踏みをしっかり行いましょう。さらに、麦踏みや追肥・土入れがスムーズにできるよう、排水口までの溝さらえ、暗きょ栓の開放などの排水対策を徹底しましょう。

雑草が発生しているほ場が散見されます。また、現在発生が見られないほ場でも今後発生する可能性があります。雑草は、種類によって適用除草剤が異なります。ほ場に発生している雑草を把握し、適切な防除を行いましょう（下図参照）。

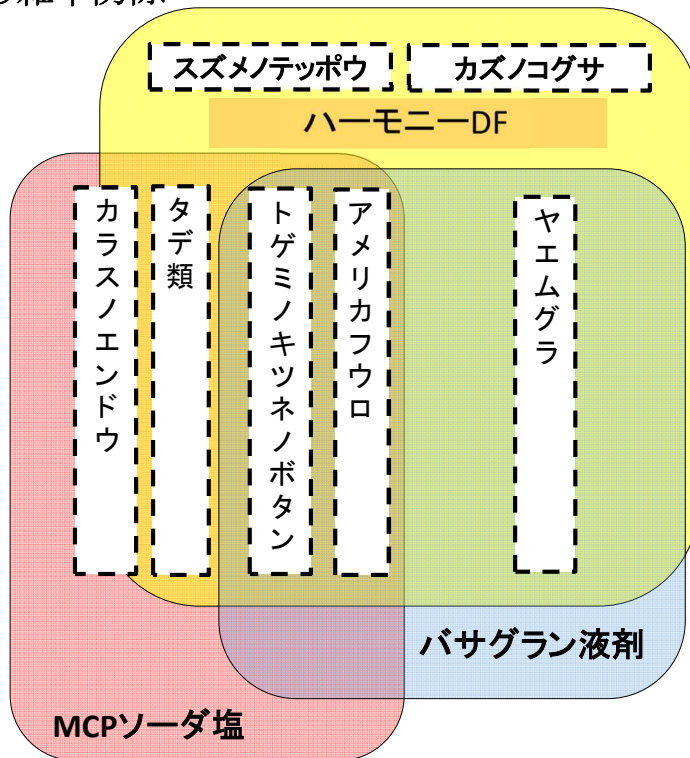
【MCP ソーダ塩について】

MCP ソーダ塩の使用時期は幼穂形成期（目安は茎立期前）、但し収穫45日前までです。暖かい方が効果が高く、2月～3月上旬の晴天が続く暖かい日に雑草にかかるよう散布します。

《MCP ソーダ塩の注意事項》

ホルモン型、吸収移行型の選択性除草剤なので、使用時に広葉作物に飛散しない様に注意する。降雨前の散布はさける。なるべく好天の日中を選んで散布する。使用後のタンク及び散布器具は3回以上洗浄する。

○雑草防除



- ①カラスノエンドウ
- ②タデ類
- ③トゲミノキツネノボタン
- ④アメリカフウロ
- ⑤ヤエムグラ

※近年、タデ類の発生が多く見られます。タデ類は他の雑草と比較して発生時期が遅い（1月下旬以降）ため、播種後の土壌処理剤の効果が切れたころに出芽してきます。そのため、茎葉処理剤での防除が必要になります。タデ類にはハーモニーDF または MCP ソーダ塩が効果があります。処理時期はタデ類の発生盛期（2月下旬）以降、雑草に薬剤がよくかかる時期までの間が効果的です。

※農業使用の際はラベルを必ず確認し、使用基準を遵守しましょう。